

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公開番号】特開 2003-191365 (P2003-191365A)

【公開日】平成 15 年 7 月 8 日 (2003.7.8)

【出願番号】特願 2001-379744 (P2001-379744)

【国際特許分類第 7 版】

B 3 2 B 7/02

B 4 4 C 3/02

G 0 3 G 7/00

G 0 3 G 8/00

【F I】

B 3 2 B 7/02 1 0 3

B 4 4 C 3/02 Z

G 0 3 G 7/00 B

G 0 3 G 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 10 日 (2004.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 表面及び裏面を有する光透過性の保護フィルムと、

(b) 前記保護フィルム裏面に適用されたトナーから形成され、前記保護フィルムを通して視認可能な画像と、

(c) 前記保護フィルム裏面と対向して配置された表面と、その表面と対向する裏面とを有し、前記保護フィルムに接着されたシート基材と、

(d) 前記画像が形成された保護フィルムと前記シート基材とを互いに接着している接着層とを

備えている画像表示シートにおいて、

前記接着層は、前記画像が形成された保護フィルム裏面と前記シート基材表面との両方に密着した感圧接着層を有することを特徴とする、画像表示シート。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の画像表示シートの製造に用いられるシート基材であって、前記保護フィルム裏面に向けて配置される表面と、その表面と対向する裏面とを有し、その表面に前記接着層が固定されている、接着層付きシート基材。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の画像表示シートの製造に用いられる保護フィルムであって、フッ素系ポリマーと非フッ素系ポリマーとを含んでなり、前記シート基材表面に向けて配置される裏面と、その裏面と対向する表面とを有する熱可塑性樹脂フィルムからなり、その裏面は熱転写されるトナーを受容可能である、画像形成可能な保護フィルム。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の画像表示シートの製造方法であって、

(i) 前記保護フィルム裏面と対向して配置される表面に前記接着層が固定されている、接着層付きシート基材を用意し、

(ii) 別途、前記保護フィルム裏面に前記トナーを適用して前記画像を形成して画像付き保護フィルムを用意し、

(iii) 前記(i)で用意した接着層付きシート基材と、前記(ii)で用意した画像付き保護フィルムとを重ね、前記シート基材に熱的損傷を与えない様にしてそれらを圧接し、前記接着層を介して前記保護フィルムと前記シート基材とを接着する工程を含んでなる、

製造方法。